

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893800029		
法人名	株式会社 メディカルアシスト		
事業所名	グループホーム やまゆり	ユニット名	1ユニット
所在地	〒300-0414 茨城県稲敷郡美浦村信太2644-3		
自己評価作成日	平成23年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0893800029&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年2月24日	評価確定日	平成24年7月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

今までの生活状況が損なわれぬよう家庭的な環境雰囲気提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は事業所を家庭からの延長の場であるとともに利用者の終の棲家であると考え、個性を尊重しながら一人ひとりに寄り添う支援に努めている。</p> <p>利用者の生活の様子を写真やコメントで紹介した広報誌を毎月発行して家族等に送付したり、何気ない会話から知り得た利用者の思いや希望を家族等に電話で伝えるなど、家族等との係わりを大切にした支援をしている。</p> <p>利用者が重度化した場合に備えて浴室には一般浴槽の他に機械浴槽を設置している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り時に全員で理念を唱和している。また、職員のネームプレートには理念を書き常に理念の実施に努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成しているほか、理念にそった行動がとれるよう毎年ユニット毎に職員が協議して目標を立て、日々の支援にあたっている。 理念を玄関や廊下に掲示するとともに、職員の名札の裏に記載して朝礼時に唱和し、日々の支援が理念や目標にそったものであるかを常に確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣地区の清掃作業等に職員が参加したり近隣地域の納涼祭に参加するなど地域の方々との交流をしている。	缶拾いや街路樹の枝おろしなどの自治会の行事に利用者と職員で参加したり、看護学生の実務体験や紙芝居、歌、踊り、傾聴などのボランティアの受け入れを通して、地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1度実施し、地域の人々に向けて認知症の理解をして頂けるように努めている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1度開催し、サービス提供や取り組みに関して、意見交換を行いサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回村職員の参加を得て開催し、利用者の生活の様子や事業所の運営状況の報告などを行っているものの、活発に意見交換を行うまでには至っていない。	運営推進会議を地域の理解と支援を得るための貴重な機会と捉え、避難訓練や事業所の行事に合わせて開催するなど、積極的に活用することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者が直接行政に足を運んで、顔を出すように努めている。生活保護受給者などもあり、行政とのかかわりを密にするよう取り組んでいる。	管理者は折にふれ村担当者を訪問して事業所の実情やケアサービスの取組みを伝えたり、助言を得たりしながら日常的に話し合っている。 村から依頼を受けて東日本大震災の被災者を受け入れるなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回のカンファレンスにおいて、拘束しないケアについて共有している。年に2回研修会行っている。問題や疑問については、随時カンファレンスを行い、申し送りノートにて共有している。車椅子の点検は、随時行っている。	契約書に身体拘束や行動制限を行わないことを明記し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 定期的に研修や勉強会を開催し全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解している。 玄関は入居間もない利用者への対応など特別な事情がない限り施錠していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアル等を参考に虐待の知識を身につけている。虐待防止の為に家族とのコミュニケーションを多く取り介護負担や不安が減るよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	マニュアルに基づき勉強会を行っている。必要に応じて随時対応する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約及び解除をする際に利用者や家族に十分な説明を行い理解して頂いている。不明な点がある場合は、随時対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来訪時にはこちらから積極的に声掛けをして利用者の状況を伝えている。	利用者からは日常の問い合わせや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めているほか、介護相談員の受け入れをしている。 重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に掲示している。 出た意見等は全職員で話し合い改善に取り組むなど、事業所の運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスの時間等を使い職員から問題点などを出し合い反映している。他に問題点がある場合には、随時対応している。	管理者は職員が意見や提案を気兼ねなく言い出せる関係を築いており、全体会議やユニット会議で意見等を聞いている。 出た意見等は利用者への支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自が向上心を持つよう働き掛け、働きやすい環境を作っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修などに参加したり、定期的に勉強会を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域包括支援センター主催で行われる研修に職員も参加し、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員が、利用者様ご本人を理解する事を前提に、ご本人とのコミュニケーションを図り、不安なことや要望に対して耳を傾け安心を確保するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所初期には、ご家族に来所して頂いたり、ご自宅に訪問し、不安や、要望等に耳を傾けながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族とよく話し合いを行い必要としている支援を見極め、より良いサービスを提供出来るよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分で出来ること、職員と共に出来ることを意欲的に取り組んで頂けるよう支援し、共に過ごし、支えあう関係を築けるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居された方はお客様ちう事を忘れず、ご家族とのコミュニケーションも大切にし、連絡・報告を行い協力し合えるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	仲の良い利用者同士を同じテーブルにするなどご本人の希望を聞きながら支援に努めている。	職員は利用者の日常の買い物や選挙投票へ付き添ったり、家族等と連携して親戚の集まりや墓参りなどに行けるよう支援しているほか、手紙の作成や電話の取り次ぎなどを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、配慮した座席配置にしたり、一人一人が孤立しないよう職員が積極的にコミュニケーションを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族に対し気軽に立ち寄って下さいなどの言葉を掛け、いつでも相談に応じる事も伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者との日常的なコミュニケーションから意向や希望の情報を聞き、また、職員からの情報を基に利用者の状態変化等を把握している。	職員は利用者との会話や表情、しぐさなどから、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 現在は意思の疎通が困難な利用者はいない。 カラオケやかるた、風船バレー、体操など、利用者がやりたい時にやりたいことができるよう支援しているほか、農作業や手すり拭き、おしぼりや洗濯物たたみなど、利用者が自主的に役割を担って過ごせるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族より生活歴や馴染みの暮らし方、生活習慣等をお聞きし、本人に合ったサービスを提供できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様との関わりの中で、より良い本人の状態を観察し、把握出来るよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族様、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画は要介護認定の更新時に合わせて利用者や家族等の希望を聞き見直しをしているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者や家族等に確認を得ている。 3ヶ月毎にモニタリングを行い実践状態や達成状態をチェックしており、現状に即した援助内容となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別に記録に残し、職員間で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況・その時々状況を把握し、対応を行いサービスの多機能化に取り組み、支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じて、行政機関やボランティアを活用し、日々の生活が充実し安全で豊かな暮らしを営む事が出来るように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前にかかりつけ医の確認を行い、連携医療機関を説明し、ご本人・ご家族の希望を受け入れたうえで支援している。	協力医療機関から月1回訪問診療を受診できる体制となっているほか、利用者や家族等の希望にそってかかりつけ医への通院を支援している。 受診結果は、その都度電話で家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か、変わりがあった際は、直ぐに連携医療機関に連絡し、指示を仰ぎ適切な受診、看護が受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携を活かし、情報交換を密に行い入院時には早急に対応出来るよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期のあり方についてご本人・ご家族等と話し合い事業所で出来ることを説明している。	契約時に明文化された「重度化対応・終末期ケア対応指針」を説明し、利用者や家族等の同意を得ているものの、医療行為や医療的管理を要する場合に対応できる体制には至っておらず、今後の課題となっている。	現在の事業所の体制を踏まえたうえで、重度化や終末期に向けた具体的な支援方針を全職員で協議し見直すとともに、関係者間で統一した見解をもって共有することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網を作成し、急変や事故発生時に備え、直ぐに対応出来るようになっている。定期的に初期対応の訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署に連絡し、避難訓練と消防訓練も行っている。	年2回昼間や夜間想定での避難訓練を実施しているものの、実施状況や反省点、課題等についての話し合いや地域の人の参加を得るまでには至っていない。 隣町にある同一法人の他施設に非常食などを備蓄しているが、事業所内に備蓄をするまでには至っていない。	避難訓練を通して得た課題などを職員で話し合い、記録に残すとともに訓練に地域の人々の参加を呼びかけ、地域との協力体制を築くことを期待する。 食糧や飲料水、懐中電灯などを事業所内に備蓄することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念の「人間の尊厳を守る」「プライバシーの尊厳」のもと、利用者のプライドを傷付けない対応に配慮している。	管理者や職員は利用者に対する呼び名や言葉遣いなどに気を配り、一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。 個人用ファイルは事務室内の鍵のかかるロッカーに保管し、情報の漏洩に留意しているほか、個人情報を利用する場合は利用目的を明示して家族等に確認を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望や思いに職員が耳を傾け利用者様ご本人が自己決定出来るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人のペースに合わせた生活を支援している。カラオケを楽しんだり、かるた取りをしたり、その人らしく暮らせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	有償ボランティアの理容師が2ヶ月に1回ホームを訪問しており、散髪を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は職員と一緒に配膳、下膳など出来る範囲で担っている。	食材は外部調達のカロリー計算されたもので、利用者の咀嚼能力に合わせて調理している。 誕生会や節句などの行事にちなんだ献立や外食会などを企画して食事が楽しみなものになるよう工夫し支援している。 利用者は野菜刻みから味付けまでの調理やテーブル拭き、下膳などをそれぞれの能力に合わせて職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事摂取量を確認している、栄養バランスを考えたメニューを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けを行ったり、介助をする事で口腔ケアを行っている。寝る前の入れ歯の消毒も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツを使用している方も、二中はリハビリパンツにしたり、定時誘導したりと一人一人の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援をしている。	管理者はズボンやパンツの上げ下げができる利用者は時間がかかっても自分で行うことが大切だと考え、排泄の自立に向けた支援をしている。 職員は利用者の排泄のパターンを把握してトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。 夜間の場合もトイレ誘導やポータブルトイレを利用して、なるべくおむつを使わないよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操、運動やおおよそバランスを整え個々に応じた対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴表を作成し表に基づいて入浴を行っているが、その日の体調を確認し、利用者の希望により入浴される。	風呂は毎日沸かし、男女別に一日おきに入浴ができるよう支援し、入浴日でない日は足浴器を使用するなど工夫して入浴を楽しめるよう支援しているほか、機械浴槽を備えている。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず職員や時間帯を変えて声をかけ、利用者がスムーズに入浴ができるよう支援している。 温度差を考えて脱衣場にエアコンを設置したり、肌が乾燥気味の利用者には風呂上がりにワセリンやローションを塗るなど、入浴の時間が快適なものとなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	シーツ交換、布団干し等寝具を清潔に保ち、安眠にむけて支援している。散歩や日光浴を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者事に服薬している薬の目的や副作用、用法、用量について理解しチェックリストを用いて服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホームの畑で野菜を栽培しており、実りの成長を外へでた時など利用者確認し、収穫の際には利用者と共にしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に出かけたり、ドライブや普段行けない場所への外出など定期的に行っている。家族との外出はいつでも出来るようになっている。	天気の良い日は事業所周辺を散歩したり、庭で農作業やお茶飲みなどをして利用者が気軽に外気浴が楽しめるよう支援している。 近隣の公園やショッピングモールなどに車いす使用の利用者も一緒に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での管理が出来ない方は施設で管理している。買い物等に出かけ、ご自分でお金を支払うなどを支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れ、居心地の良い共用空間を作り込みに努めている。	ユニットの境扉を開けると天窗を配した回廊型の廊下で2ユニットが繋がっており、明るく広々と見通しが良く快適な空間となっている。 職員は利用者同士の相性を考えて座席を配置したり、ソファや椅子などを設置して一人ひとりが思い思いの場所で寛げるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中にもソファを置いたり、気の合った利用者同士の座席にしたりしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた馴染みの家具や物等を持参して頂き、居心地良く生活出来るようにしている、	居室にはテレビやラジオ、冷蔵庫、鏡台など利用者の馴染みの物品が持ち込まれたり、家族やペットの写真、ぬいぐるみなどが飾られ、居心地よく過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事を、職員が把握し、安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームやまゆり

作成日 平成24年8月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重要事項説明書により、重度化した際の方針について説明しているが、さらに全職員での話し合いが、必要	終末期の支援方針を決める	訪問看護を取り入れ週2回来荘して頂き、入所者様を見て頂く。他に県で開催準備中の痰の吸引研修を受講するよう考えている。	H24.8月より実施
2	4	運営推進会議を2ヶ月に一度村職員の参加も得て開催しているものの活発に意見交換を行うまでには至っていない。	避難訓練や事業所の行事に合わせて開催するなど、積極的に活用していきたい。	事業所の行事の際に地区の高齢者にも参加して頂く。また、回覧等を利用して事業所の行事を地域の人々に知らせ協力体制を作る。	6か月
3	35	避難訓練を通して得た課題を話し合い、記録に残す。	事業所だけではなく地域の人々の参加を呼びかけ地域との協力体制を築く。	避難訓練を通して得た課題などを職員で話し合い、記録に残すとともに訓練に地域の人々の参加を呼びかける。	6か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。